

ぼちぼちにか

2020年9月9日
桜井谷小学校
6年図工通信 第5号
発行者：古田 みちる

誰でもピカソ



2学期最初の作品は「誰でもピカソ」。算数で学習した「シンメトリー」を生かした作品です。画用紙の色と形を使って作ります。手順は簡単。①画用紙を3色決める②顔になる2色の画用紙を重ねて顔を切り抜く③顔のパーツをシンメトリーで貼りつける④額縁を貼りつける。①は、1学期末に各自の希望を聞いていたので（手元に配布する時には、子どもたちは自分が頼んだ色をすっかり忘れてしまっていました（笑））、②から取り組みスタート。

「顔」を意識せず偶然できあがった形で顔っぽくなった子、「顔」を意識して髭や顎などのパーツのでこぼこをはさみで器用に切り抜く子、自分が思っているより大きすぎたり小さすぎたりとサイズの調整に苦戦する子…。今回は、それぞれが手元に持っている画用紙の色もばらばらなので、作品作りをしている間は教室の中が彩り豊かです。また、人と違って大丈夫、自分のオリジナルを思うままに作っていけばいいという大胆な感覚を多くの子がもっていたことを嬉しく感じました。最初はパーツの形に悩み手が止まっていた子も居ましたが、周りの友だちの作品を見てアイデアをもらったり、偶然生まれた形を何かに見立てて作品に生かしたりとそれぞれの工夫が盛りだくさん詰め込まれた作品が仕上がりました。ピカソのゲルニカもどきの顔のような、それ以外の何かのような摩訶不思議な顔で溢れています。お互いの作品の鑑賞を終えたら教室前に掲示予定です。



次回からはステンシル版画の学習を始めます。自分の顔を版画で表現します。子どもたちが1学期に苦戦したカッターナイフを使います。また、自分の顔を見るのに鏡を使いますので手鏡がありましたら持たせてくださるとありがたいです。ご協力よろしくお願い致します。